

清瀬市内大学合同プログラムが開催されました

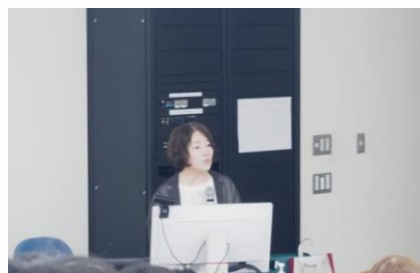
清瀬市にある日本社会事業大学と明治薬科大学と連携し、1，2年生を対象とした多職種連携教育（IPE:Inter-professional Education）が開催されました。3回目となる今年度のテーマは、「People-centered Care」でした。

3日間のプログラムでは、看護学、社会福祉学、薬学における大学や職種の特徴を踏まえた講義や演習、グループワークなどに取り組みました。学生たちは積極的にプログラムに参加し、各専門職の役割や視点の違いについて理解を深めるとともに、人々や市民を中心とした支援を実現するための多職種連携の重要性について学びました。

本学では、今後も両大学と連携して、多職種連携教育を推進してまいります。

Day1 国立看護大学校

西岡看護学部長より「看護とは」について、小島教授より「看護と生命倫理」について講義が行われました。昼食後に学生による実習室ツアーを行ってから、点滴やシミュレーターを用いた技術演習とグループワークを実施しました。



萱間大学校長

Day2 日本社会事業大学

3名の先生方のご講義の後、実習棟ツアーで介護食を試食しました。また、障害を抱えながら自立した生活を望む人に対する支援を検討するグループワークを行いました。



横山学長

Day3 明治薬科大学

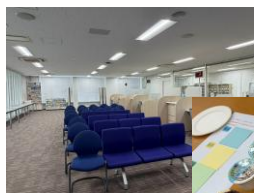
複数の疾患を抱えながら在宅で療養する高齢夫婦を事例としたグループワークで、各専門職がどのような支援を行うことが可能かを検討しました。構内ツアーでは、実験室や模擬薬局、明薬資料館を見学しました。



越前学長



グループワークの様子



演習の様子



西岡学部長の講義



小島教授の講義